

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。
*ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。

特集展「貝殻パラダイス!」関連イベント

- ワークショップ「貝合わせをやってみよう」
2/6(日)10:30~11:30 ②13:30~14:30
実技講座「貝がら工作でネームボードを作ろう」
2/11(金・祝)13:30~15:30
講演会「知ってるかい、ふくしまの貝—育てて採る、おいしい貝の紹介—」
2/20(日)13:30~15:00
展示解説会
1/22(土)、2/26(土) 各回13:30~14:30

特集展「そなえの芽 災害から考える あしたの暮らし」関連イベント

- 防災教育ワークショップ「震災遺産を活用した授業づくり」
2/12(土)13:30~15:30
防災工作ワークショップ「楽しい備え」
2/19(土)13:30~14:30
見どころ解説会
3/11(金)13:30~14:30
防災講座ワークショップ「さすけなふる」
3/12(土)13:30~15:30
防災工作ワークショップ「たのしいそなえ」
3/27(日)13:30~14:30

ミュージアムイベント

- 会津の彼岸獅子
3/6(日)13:30~14:30
*一定お先に会津の春をプレゼント!

キッズ・ファミリー向けイベント

- 博物館でも読み聞かせ
1/8(土)11:00~11:30 ②14:00~14:30
出演:①会津大学短期大学部幼児教育学科の皆さん ②ゆかいな仲間たち

ポイント展ミニ解説会

- 各回とも11:00~11:30
1/23(日)「暑さ寒さをしのぐ道具たち」
2/27(日)「くずし字に挑戦!⑤」

より深く知りたい!聴きたい!講座いろいろ

- 特別講座 詩人のいる博物館
2 写真の力・言葉の力(仮)
1/15(土)13:30~15:00
和合亮一さん(詩人)、アイリーン・美緒子・スミスさん(写真家/環境ジャーナリスト)
3 ふくしまを書く(仮)
3/5(土)13:30~15:00
和合亮一さん(詩人)、古川日出男さん(小説家)
民俗講座 民俗ミニ映画会「記録映像で見るふくしまの暮らし」
2 1/16(日)10:30~ 講堂
3 2/20(日)10:30~ 講堂
4 3/20(日)10:30~ 講堂

- 美術講座 美術談話5「震災とアート」
3/25(金)13:30~15:00
川延安置(当館副館長)、小林めぐみ(当館学芸員)
考古学講座 勾玉をつくる
3/26(土)13:30~15:00
田中敏(当館学芸員)

<イベントについて>

*「要申込」の表記がないイベントは申込不要です。
*「有料」(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
*「要申込」のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合は翌開催日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。



昨年度の彼岸獅子披露の様子

1~3月のポイント展

ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。

- くずし字に挑戦!⑤ 1/5~2/27
※あえて解説なし(ヒントはあり)!くずし字解読にいとむポイント展。
●暑さ寒さをしのぐ道具たち ~4/13
※それほど昔ではない電気やガスがなかったころの各家庭でつかわれていた道具を紹介します。

2022年1月・2月・3月イベントカレンダー

Calendar grid for January, February, and March 2022, showing event dates and days of the week.

休館日 ■ イベント開催日 ■

観覧料
■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名様以上の団体は220円)
*高校生以下は無料です。
*常設展チケットで特集展「貝殻パラダイス」「そなえの芽 災害から考える 明日の暮らし」もご覧いただけます。
■年間パスポート 1,500円
購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展を何度でもご覧いただけます。



- JR会津若松駅から約3km
・タクシーで約10分
・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分
(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分
(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

車椅子使用者用駐車場
・博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台
・一般駐車場内博物館入り口側:3台
※ご不明の点はお問合せください。

福島県立博物館 Fukushima Museum
開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986
HP https://general-museum.fcs.ed.jp

<編集後記>
2020年春、コロナ禍での創刊となってしまった「なじよな」ですが、少しでも役立つ情報をお届けしたいと編集を重ね、今号で10号をむかえました。中面でも記事にしましたが、これからもお手元で楽しんで頂くため、紙面に関するご意見をお寄せ下さいませ。お待ちしております!(A)

なじよなVol.10 1~3月号 2021年12月21日発行 発行/福島県立博物館

中面の「きっずなじよな」の答え:8回

風のか国気な



風のか国気な

貝殻パラダイス!

●展示構成

I さまざまな貝のすがた — あなたの知らない貝の世界! —

●大きな貝たち
世界一大きい貝は1m以上になるよ! 展示室で探してね。

●ふしぎなかたらの貝たち
トゲだらけの貝もいるよ。

●これも貝のなかま
イカやタコも貝のなかま!

●大きな貝のなかま
アララオニシ

●ヒオウギ
カラフルだけど食べられません。

●オキナエビスのなかま
実は5億年前から同じ形。

●イモガイのなかま
デザイナーがいたみたい...でも毒がある!

●タカラガイのなかま
キレイでお金としても使われた貝。実は漢字の「貝」の字源です。

●オキナエビスのなかま
実は5億年前から同じ形。

II 美しい貝 — 誰がデザインしたの? オドロキの色と模様 —

●ヒオウギ
カラフルだけど食べられません。

●ヒレジャコ

●ワダチパイ

III 貝の生活 — 貝はどんな場所に住みたいか? —
浅い・深い・岩場・砂地・あたたかい・冷たい...
種類で異なる好みの居場所

IV 浜辺で拾った貝殻 — 近くの浜辺で見つかる貝をご紹介します。 —

V 貝を食べる — 貝料理は世界中で人気! 食べられる貝を集めました。 —

福島県初公開!
足に金属(硫化鉄)のウロコを持つ巻貝、スケーリーフットがやって来る!

POINT① 器官に金属を利用する生物は、地球上スケーリーフットだけ! 和名はウロコフネタマガイ。「ウロコを持つ足」を意味する「Scaly foot」の一般名で呼ばれることが多い。

POINT②

写真提供: Dr. Chong CHEN

どちらの特集展も常設展観覧料でご覧いただけます
常設展観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円)
*高校生以下は無料です。*年間パスポートでもお入り頂けます。
詳細はなじよな裏面をご覧ください。

特集展

そなえの芽 災害から考える あしたの暮らし

2月11日(金・祝)~3月27日(日)

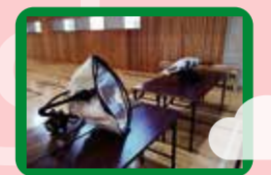
【会場】収蔵資料展示室

そなえの 一歩を 踏み出そう

いつ起こるかわからない災害に対して、自分が住む地域のことをよく知り、もしもの時を想像しておくことは大切です。
今回の展示を通して、すべての方に意識の備えとして「そなえの芽」を持ち帰って頂くことを目指しました。



担当の筑波さんに聞きました!



Q1/当館では東日本大震災をきっかけに震災遺産の保全を進め、毎年冬場に「震災遺産を考える」と題した特集展でご紹介してきました。今回はタイトルが「そなえの芽」に変わりましたが、その意図を教えてください。

いざという時に慌てないためにも、ふだんから想像力と創造力を働かせることが大切だと考えています。資料をより具体的に自身の生活に結びつけて、「もしもの時のそなえ」を意識する。震災遺産が種だとするならば、災害に対する意識を「ゼロからイチ」にしてほしいと考えて特集展の名称を「そなえの芽」としました。

Q2/具体的に、これまでの特集展と変わった所はどこですか?

資料を教育現場で活用するために、活用事例の紹介が必要だと考えました。資料を見せて過去の災害を振り返るだけでなく、自分の生活と地続きにして自分事としてより考えを深められるように。そのために今までより積極的な設問型の展示にしたいと考えました。災害を想起するだけでなく、より具体的に考えるような仕掛けを用意しています。

Q3/どんな人に見てもらいたいですか?

防災教育に関わる人たちや、学校の先生、災害を今後どうやって伝承しようか実践しているみなさんをはじめ、ご家庭での備えは必要だけでも、何から始めたらいいか迷っている多くの方にも楽しんでいただければと思います。



テーマ展

ふくしまを伝える ~震災とアート~

会期: 2月5日(土)~4月3日(日) 会場: 部門展示室 歴史・美術

2012年~2017年にかけて行った「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト」(事務局・福島県立博物館)では東日本大震災の記憶を作品として残してきました。その一部をご紹介します。アートが伝え、問いかける福島。ぜひお運びください。

【Point】

① 作品からの問いかけ
2011年以降、福島を歩き、福島の風景に出会い、福島の皆さんと言葉をお交わした作家たちが、感じたことを自分たちの表現手法で形に残した作品たち。そこには福島が内包する課題への問いが潜んでいきます。

② 作品が伝えること
展示作品の中には、福島の豊かな歴史や文化に取材したもの。私たちがあたりまえの存在として見過ごしてきた福島の誇るべき姿が伝わってきます。

③ 感じ、考える
本展が「あの時の今のそして未来の福島」を考える場になればと考えています。ご覧くださった皆さんに、感じ、考えていただくだけで初めての展示は完成します。一緒に作り上げていただけたら嬉しいです。

本郷歴史「水源地」
(はま・なか・あいづ文化連携2016プロジェクト成果展 in Matsumoto)

土田ヒロミ「Fukushima」
(はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2017成果展 at Fukushima Museum)

収蔵庫なじよな 情熱のつまった調査記録ノート

収蔵庫には、博物館が調査・収集した資料以外に、個人の方からご寄贈いただいたコレクション資料が数多く収蔵されています。考古資料を収蔵している第2収蔵庫にも、考古学に情熱を燃やす野の研究者の方々が、寸暇を惜しんで、精力的に遺跡を踏査するなかで採集した土器や石器などが保管されています。今回紹介するのは、このようなコレクション資料の核となる考古資料ではなく、その資料の発見記録である、遺跡踏査の段階で書き留められた調査記録ノートです。

そのなかの一節を紹介しましょう。記録されたのは1954年6月27日。

「7:15霧雨を突いて自転車で出発する。泉駅着は8:45。(中略)大畑の前期縄文遺蹟のA・B地点の表面採取する。B地点の畑で、局部磨製石斧を1個、石鏃、土器片等を採取。(中略)雨中を家に着きしは4:50」

この方が記録したノートは全部で24冊。いずれのノートにも、このような調査経過と、採集した土器や石器の図、そして、踏査した遺跡の略図など、詳細な記録が書き留められています。内容を見ると、仕事が休みの日にはほとんど、朝から夕方まで一日、自転車で乗り、遺跡を歩いてきたことがわかります。採集された土器や石器の歴史的価値をさらに高めることになる、記録ノートの数々。この1頁1頁には、調査者の遺跡踏査への並々ならぬ執念が詰まっています。(田中)

調査記録ノート

調査記録ノートの一節

け/ん/は/く/日/記

充実の時間! 会津木綿でMyはたきづくり

2021年11月6日(土)、株式会社はらっぱの二人を講師に、ワークショップ「会津木綿のはたきづくり」を行いました。現在はさまざまな編織が楽しめる会津木綿。編織は配色や柄の太さをかえると、シックにもポップにもなります。ワークショップは、講師にお持ちいただいた皆さんの生地を参加者が選ぶ所からスタートしました。参加者の皆さんは、迷わず楽しみや、なつかしい掃除道具「はたき」をご自身でつくる楽しみを満喫し、さらに「家でのお掃除が楽しみです!」と帰って行かれました。

このワークショップは、若松城三の丸跡にある当館をスタート地点に、会津ならではの武家文化、商工文化、雪国のものづくり文化を楽しんでいただくための「三の丸からプロジェクト」の一環です。来年度もさまざまな事業を展開していきますので、ご注目ください。

あなたの声、およせください!

2、3ヶ月に1度発行している福島県立博物館の広報紙なじよな。もっと博物館を身近に感じていただきたいと、2020年春に創刊しました。分かりやすく、わくわくして、小さな好奇心が満たされる紙面をめざし、今号で10号になりました。今後もさらに充実した紙面とするため、ぜひあなたのお声をさかせてください。こんな情報も知りたい...こうしたらもっと読みやすい...など、小さなことでも結構です。頂いたご意見は、今後のなじよな紙面でもご紹介し、改善して行きたいと思えます。

【連絡先】 福島県立博物館 学芸課 連携交流班「なじよな編集係」
Tel 0242-28-6000(代表) Fax 0242-28-5986
e-mail: general-museum@fcs.ed.jp

きっぴなじよな

〜いろんな貝をみてみるカイ? の巻〜

謎の巻マッキー
フタバスキュー
ズッキー

1 マ ねえズッキー!これは何?
ズ カイ答えよう!これは昔の人が食べた貝殻や動物の骨などを捨てたところ貝塚というよ。常設展に展示されているんだ。
マ へ〜!昔の人は貝をたくさん食べていたんだね!それにしてはすごい量だね〜

2 マ 貝塚をよく見ると、いろいろな種類の貝を食べていたことがわかるね!
ズ さすがマッキー!ここまいくるまで見ているね!そうだ!博物館の貝コレクションの一部を見るカイ?

3 マ すごい!貝によって色や形も全然違う!こんなに種類が豊富なんだ!
ズ 今見ているのはコレクションの一部。2022年1月22日からカイ帰る特集展「貝殻パラダイス!」では、さらにたくさん貝を紹介するよ。

4 マ 「貝殻パラダイス!」楽しみだね〜!ホテルにサザエにアワビ...
ズ いやマッキー、貝を食べられるわけではないよ。貝の世話を紹介する展示なんだ。
マ ズッキー。テーマが「貝」だけあって言葉の中にカイをいっぱい入れてたね。
ズ 言葉も見破るとはさすがマッキー!わかったカイ?(笑)では、ここでクイズだよ。

【ズッキーからの挑戦!!】
ズッキーは「カイ」を何かイ言ったでしょう?
※「貝」は含めません

特集展「そなえの芽」もお楽しみに!!